

# 徳島県の観光消費額の少なさ

同じ四国であり人口が似ている香川県と比べた。

徳島県

香川県

引用元：徳島県ホーム

金額

2019年 1072億

香川県ホーム

円

1185億円

ページ

コロナ

2020年 736億円

605億円

2021年 929億円

1077億円

2022年 1286億円

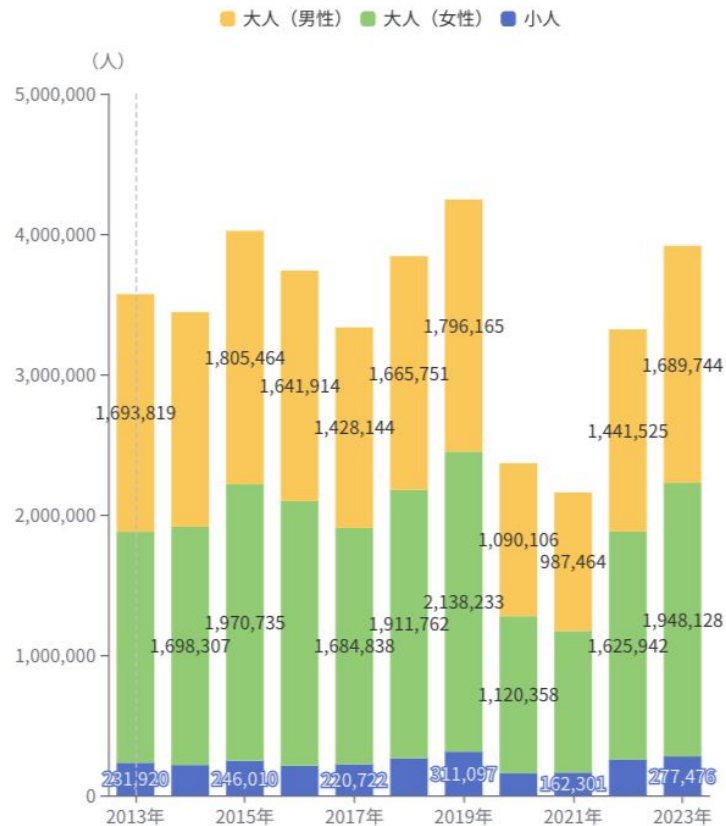
1311億円

コロナ禍であったため香川県は2020年に大幅に減っているがやはり2021年からは1000億円を超え徳島県の観光消費額は低い。

# 徳島県の宿泊者数の問題

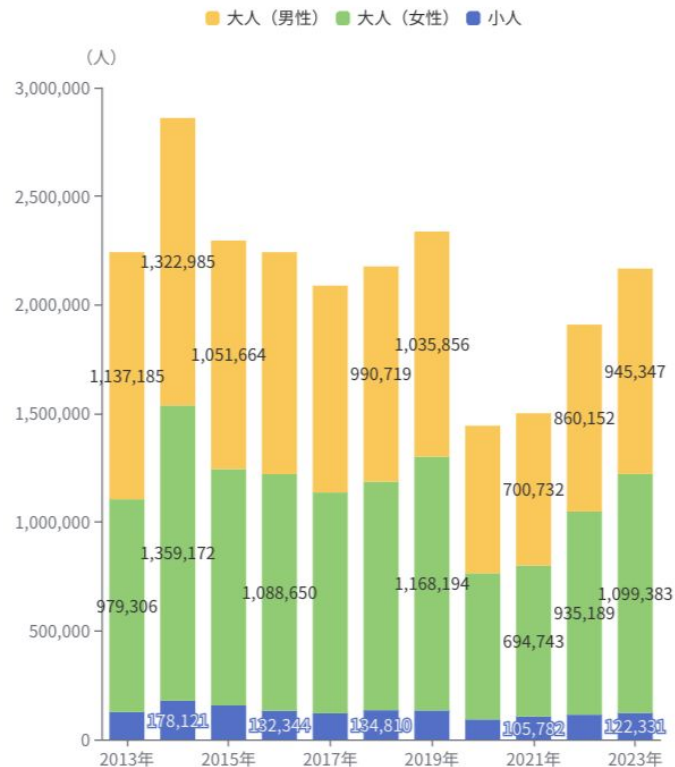
属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

香川県  
性別



属性別の延べ宿泊者数（総数）の推移

徳島県  
性別



# 徳島県の外国人観光客・滞在時間の比較・理由

～年間を通して外国人観光客が少ない都道府県～

①鳥取県 ②島根県 ③福井県

④秋田県 ⑤山形県 ⑥佐賀県

引用元: GEMINI

⑦岩手県 ⑧青森県 ⑨高知県 ⑩徳島県

～各県の滞在時間の目安～

徳島県 1泊2日～3泊4日

東京 6泊7日

京都 6泊7日

# スライド4の外国人観光客の滞在時間が少ない理由 ③に対しての解決策

選んだ理由・・・一番取り組みやすく解決できそうだから  
多言語対応が進んでいないことに対しての解決策

- ①情報発信の多言語化
- ②環境整備
- ③現場でのコミュニケーション支援
- ④地域連帯

# 観光消費額を増加するための解決策

周遊所やイベントの開催を増やす



SNSにあげてもらう



観光客UP↑



多くの場所に名物を置く



観光消費額UP↑

## 香川県の周遊施策の成功事例

香川県はコロナ禍をきっかけに観光消費額が大幅に減少した。

そのため2018年からは「高松フードアートフェスティバル」を開始

特に効果的だったのが、オフシーズン対策としての「冬のうどんアート」。観光客が減少する11月～2月に、市内のうどん店とアーティストが連携した特別メニューやワークショップを展開するもので、閑散期の誘客に貢献。2022年冬のキャンペーンでは参加うどん店22店舗で前年同期比約18%の売上増加がみられた。

## 香川県の成功事例を通して徳島県でできること

香川県では「高松フードアートフェスティバル」をきっかけに観光消費額が増加した。香川県では有名なフードを用いたため徳島県もならではのフードを使う

- ・「すだち」「阿波尾」「鳴門鯛」などを活用したメニューでのフードアートフェスティバル
- ・特定の食物での開催

例)「なると金時スイーツフェスティバル」「徳島ラーメン食べ比べ選手権」

※徳島県の公式アカウントを使ったりイベントのウェブサイト・SNSアカウントを開設し費用を抑えながら発信。徳島新聞やテレビ局への情報提供が有効。

# まとめ

・徳島県の消費額の少なさがわかった。  
対応が進んでないこと  
ことだった。

→外国人への  
周遊場が整備されていない

徳島県での周遊所施策とそれにおける結果

・「徳島ラーメン」「阿波尾鶏」など有名な食品を活用し、徳島フードアート  
フェスティバルを開催する。 ・周遊所施策を開催すること  
で観光客がUPすることを予想。 スーパーマーケットや観光地に徳島名  
物を置くことで観光消費額 が増加する。  
宿泊者数の減少や外国人観光客の減少での問題も解決する。